

回復期リハビリテーション病棟管理医師募集概要

回復期リハビリテーション病棟の概要
【病床数】40床 【スタッフ】PT7名、OT2名、看護師18名、MSW1名
募集の経緯
<p>昨今の診療報酬改定の影響により、新潟医療圏では急性期病床が余剰、回復期病床が不足という状態にあります。当院は急性期病床のみで425床ですが、ここ数年、病床稼働率が減少してきました。そこで急性期病棟1つを回復期病棟に転換し、急性期治療の終わった患者さんを、今までは他院に紹介していましたが、引き続き回復期リハビリ病棟で診ていこうということになりました。</p> <p>このような経緯で回復期リハビリ病棟を管理していただく医師を募集することとなりました。</p>
業務概要
<p>主治医として受け持つ患者数は25から35名です。整形外科疾患8~9割、その他（廃用症候群等）の患者が1~2割です。</p> <p>運動器リハビリテーション患者の主治医として患者を総合的に診療していただきます。発熱など急な病態変化に対応し、適宜検査や処方・処置するなど内科的診療が主になります。約5割の患者に整形外科の副主治医がついていますが、その決定は医療安全に基づいて整形外科医が行っています。</p> <p>患者ごとのリハビリテーションメニューは全て整形外科担当医とリハビリスタッフが決定します。運動器リハビリテーション以外の回復期リハビリテーション患者は急性期病床の主治医がそのまま主治医となります。</p> <p>リハビリテーション専任医師の仕事を減らすため、薬剤師による処方の代行入力を実施しています。また、入院記録や紹介状の原案作成を医療クラークに依頼するよう検討中です。</p> <p>医師検討会については各科ごとに実施し、総回診はありません。多職種による週1回の判定会議と症例カンファレンスを実施しています。</p>
必要な資格など
リハビリテーション専門医である必要はありません。急性期の整形外科医と良好な関係を構築していただくことが重要と考えます。また高齢者が多く入院していますので、高齢者への配慮が急性期病床以上に求められます。
手術・外来・当直・オンコールについて
手術：ありません 外来：ありません 当直：ありません（※） （※）当直はありませんが、可能な場合については月1~2回程度業務に入っていただきます。手当は1回16,500円が支給されます。なお、当直業務は回復期リハビリテーション病棟の当直ではなく、救急外来を担当することとなります。
オンコール：全て主治医対応。回復期リハビリテーション病棟では予測指示が徹底しており、時間外のコールは最近4か月間に2回（急な発熱）です。
年収概算
1,500万円~1,800万円程度 ※臨床経験年数により決定されます。上記金額には超過勤務等各種手当を含みます。
その他賃金等
通勤手当（上限20,000円）／住宅手当（賃貸のみ、上限27,000円）／扶養手当（国家公務員準拠） 駐車場使用料金（通勤距離2km以上の場合無料／2km未満は月1,000円） 学会補助（年度で20万円まで、旅費・会費で使用可） 論文発表補助（学会発表1件5,000円、論文掲載1件15,000円）
加入保険
健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院加入）